

重点プロジェクトについて

基本目標や活動目標を横断して進めていくべきテーマや、本計画において重点的に進めることで効果が見出しやすい取組を本計画の重点プロジェクトとして位置づけます。

また、重点プロジェクトは重層的支援体制整備事業のような施策と関連性が高く、複数のプログラムの集合体としてとらえ、進行管理を行います。

重点1 多様な主体が混ざりあうプラットフォームの創造

住民、関係団体、専門職、企業等の多様な主体や多世代が、暮らしの中や業務の中で感じている課題を解決するという共通の目的のもと、柔軟につながり混ざりあう協働の場を設けます。

また、そこから参加者同士の新たなつながりや展開を生むためのしかけを考えていきます。

具体的な 取組

- ALL 竜王見守りあいプロジェクトの開催
- コミュニティビジネスの展開を検討する場の設置
- フードドライブを活用したネットワークづくり
- 専門職間の勉強会、交流会の場を活用した異文化交流や参加者の拡大 など

重点2 地域の「気かけあう」と専門機関をつむぎあう連携体制の構築

地域住民の日ごろの見守りから気かけあっていること、これからの地域の気になることを地域内で共有し、話しあう場を設けるとともに、気になる課題を支援する専門機関につなげます。

また、地域住民、専門職が協働し、個人を支えるチームづくりのためのコーディネートを行います。

具体的な 取組

- 気かけあう会議の開催
- 社協職員による民生委員児童委員活動のサポート、ケースの調整
- 地域と専門職の連携を高めるための研修の開催
- 支援会議の開催

重点3 地域福祉の推進、総合相談支援に必要なスキルを高めあう環境の整備

地域福祉をはじめ、地域づくりを推進できるスキル、ミッションを持った人材、多分野にわたる総合相談に対応できる人材育成に関する指針を設けます。

具体的な 取組

- 行政、社協の人材交流
- 地域づくり分野に関する専門性向上のためのキャリアデザインの作成
- 福祉保健専門職における総合相談支援の専門性向上のためのキャリアデザインの作成